

長 森東校区で第3回通学路安全対策ワークショップを開催

第3回通学路安全対策ワークショップ

令和7年10月7日（火）の午後7時00分より、長森東公民館において第3回通学路安全対策ワークショップを開催しました。参加者は、第2回に引き続きPTA、子ども会、交通安全協会、自治会などの方々です。



通学路安全対策の優先順位及び合意形成

通学路の人数や客観的データなどの指標により、参加者の皆さまの意見を加えて、優先順位を決めていただきました。さらに優先順位を会場全体で共有し、参加者の皆さまの合意を形成しました。



▼テーブルでの話し合い



お礼と今後について

通学路安全対策ワークショップにご参加いただきありがとうございました。見守り活動や取締り強化など地域や関係機関の協力を得ながらソフト・ハード両面で令和8年度より順次対策を進めています。



▲発表の様子

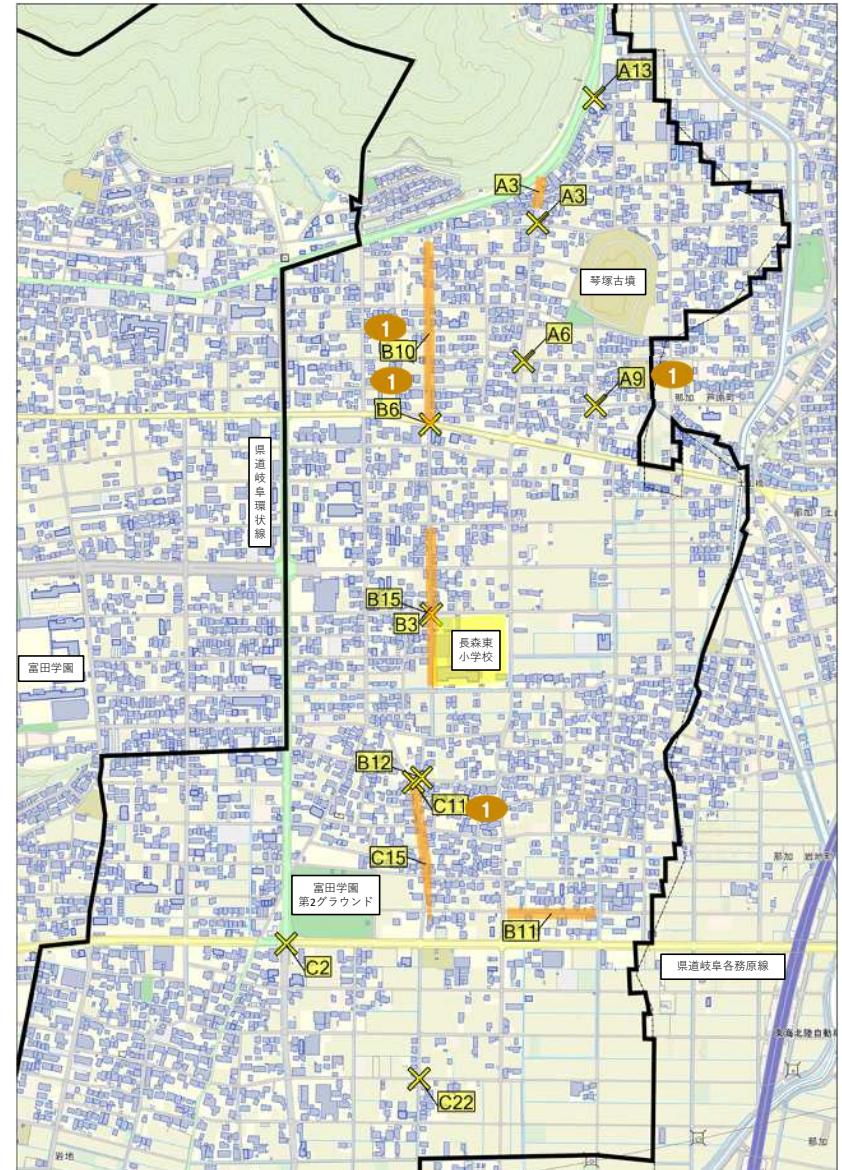
通学路安全対策 ワークショップ

第3回
ワーク
ショップを
開催(10/7)



長森東

ワークショップで合意した通学路安全対策（長森東校区）



| 優先順位 | 箇所 | 危険要因 | 安全対策 |
|------|-----|--|-----------------------------|
| 1 | A9 | 東西を通る車両が交差点の確認もせずスピードを出して走る 衝突事故も多い | 注意喚起看板・路面標示 |
| | B6 | 信号待っている子どもたちが、待場が狭くあふれる | ラバーボール |
| | B10 | 多くの子どもが通るが、路肩が狭い | 区画線・路肩カラー舗装 |
| | C11 | 帰宅時細い路地から広い通りへ子どもがとびだす | 交差点カラー舗装・路面標示・注意喚起看板・カーブミラー |

優先順位

1
A 9

通学路の安全対策イメージ

※現場の状況により変更となる場合があります

・東西を通る車両が交差点の確認もせずスピードを出して走る
・衝突事故も多い



C11

・帰宅時細い路地から広い通りへ子どもがとびだす



優先順位

2

3

4

箇所

A3
B3
B15
C2

B12

C22

危険要因

道が狭く、交通量が多い
横断歩道があるが車が止まらない
路側線をはみ出して通る子どもがいる
小学校側の歩道に路上駐車する車があり、子どもたちが車道を歩くことになり危険
東進する自転車が交差点で一時停止せず、車も停止線を越えてくる
登校時間に大型トラックやトレーラーなどが通り、信号待ちの子どもが車道近くにいると危ない
南進し左折する際、看板で歩道を渡る子どもが見えにくい

南北の車が確認できない

南北の車が歩道手前でスピードを落とさない
水路に橋がない
歩道が狭いが、交通量もあり、子どものすぐ横を車が走行する

安全対策

見守りボランティア・ポストコーン・注意喚起看板・警察取締り
ラバーボール
カラー舗装・駐車違反の取締り
注意喚起看板・安全教育

交差点カラー舗装・路面標示・注意喚起看板・カーブミラー

注意喚起看板・カーブミラー・ラバーボール
交差点カラー舗装・通学路看板

カラー舗装

転落防止柵・反射板

注意喚起看板

B 6

・信号を待っている子どもたちが、待場が狭くあふれる



B 10

・多くの子どもが通るが、路肩が狭い



対策工事のスケジュール

△合意形成された対策工事は、関係機関との調整が必要なものなどもありますので、前後することもありますが、来年度より優先順位の高いものから順番に3年程度かけて実施します。

今後のフォローアップ

△工事の進捗状況などの情報をかわら版として取りまとめ、年度ごとに地域回覧し、校区全体で共有します。

危険箇所を小学生へ共有

△市内全小学校で導入されているタブレット用の教育ICTツール、ロイロノートによりワークショップの活動内容と、話し合われた危険箇所について、資料を作成し、学校に提供し、安全教育に役立てていただきます。